別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人	.にあって	あっては名称)			住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 703-8516			
名学校	法人 就	人 就実学園			T 703-8516 F 岡山市中区西川原一丁目6番1号			
	本票作成 部署名: 会計管財部 管財課							
主たる業種 ^{分類} コード 81 業種名: 学校教育								
	番号	工‡	工場等の名称		所 在 地			
県内の 主 な	1) [川原校地(大学、短大、小学校、こども園)		ども園) 岡	岡山市中区西川原一丁目6番1号			
	2	之町校地(中学、高校)		岡	岡山市北区弓之町14番23号			
工場等								
特定事業	. 🖂	①燃料等原油換算1,	500kl以上 🗌 ②ハ	、ス・トラック100	台、タクシー250台以上	□ ③CO₂換算3,000t以上		
の該当要	件 (工場等の数	2 所	●車両	両台数(②該当の場	岩 合) 台)		
温室効果な	ブス 基準	年度(令和 元	年度) (令	和 3)年	三度排出量 目標年	度(令和 4 年度)		
排出量		4,009 t	` ,		288 t CO ₂	3, 888 t CO ₂		
	番号	番号 工場等の名称			(令和 3)年度排出量			
	1	① 西川原校地 (大学、短大、小学校、こども園)		も園)	2,709 t CO ₂			
.		② 弓之町校地(中学、高校)			579 t CO ₂			
主な工場の排出量						t CO ₂		
*>DET	,					t CO ₂		
						t CO ₂		
						t CO ₂		
	計画		和 2 年度	~	令和 4 年度	(3 箇年度)		
削減目標 達成状況	(D)		. , , , , , ,	度削減実績	目標削減率	目標達成		
		三 <u></u>	22. 2	%	3.0 %			
(原単位基の削減日標	準				原単位当たり排出量 基準年度 (3) 年度 目標年度			
の削減目標 選択してい	る 延				45. 630 35. 520 44. 261			
場合に記入	.)				/仟m2) t CO ₂ /(千	m2) t CO ₂ /(千m2)		
(該当事業者のみ記入)								
(該当事業	美者のみ 記	² 入)	ベンエコ			2 年度)法武家等		

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和	3 年度)	達成率等
指標の状況					

【削減状況の自己評価】 大学校舎の建替えが完了して延床面積が5%増加した。一方、コロナ禍の対面授業の復活により電力使 用量及び空調用の都市ガス消費が増加したためエネルギー消費が8%増えた。結果として原単位が約 3%増加した。

【推進体制】

平成21年度に学内に省エネルギー対策推進本部を設置し活動を行っている。具体的な省エネの進め方については、「事業者のエネルギーの使用の合理化に関する判断基準」に挙げられている項目を参考として、学内合同の委員会等で活発な意見交換を行っている。

また、人材育成のためにエネルギー管理員研修を計画的に受講させている。令和3年度は2名が受講し、修了者は合計8名となった。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

■【日標則减率達成のために美麗	10に相直及いう後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(R3年度実施分) 1. 西川原校地	(R3年度実施分) ・大学:高効率照明 (LED) への更新 (C02削減量 4t/年) ・大学:GHP空調の更新 (C02削減量 8t/年)
2. 弓之町校地	・高校:高効率照明(LED)への更新
(今後実施予定分) 1. 西川原校地 2. 弓之町校地	(今後実施予定分) ・各施設の経年小型エアコンの更新 ・デマンドモニター等の活用による電力使用状況や待機電力の調査及び削減、省エネの見える化に取り組みたい。

【森林保全等吸収源対策への取組】

-					
	県内で の取組	有	平成22年度から操山西部学校林(102,208.27㎡)において、岡山県・岡山市の助成を受けながら、森林保護・保全を生徒と共に実施している。具体的には、竹林の整備、アカマツ(桃太郎松)の整備に取り組んでいる。		
	その他	無			

【再生可能エネルギーの導入】

(1) I 1) III — 10 · 1 · · · · · · · · · · · · · · · ·				
県内で の取組	有	平成25年に太陽光発電設備を導入(大学T館、49.5kW)		
その他	無			

【その他特記事項】

- ・ベンチマーク対象事業に西川原校地の「大学」が該当するが、大学事業のエネルギー使用量が原油 換算で約860kLと少なく、基準値1,500kL未満のため現状、該当しない。
- ・クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる。
- ・岡山県の実施するライトダウンキャンペーンに参加。